

協働事業 審査結果

事業名		審査項目								合計
		公益性 ※	課題の解決 ※	効果・成果	役割分担	相乗効果	先駆性 専門性 柔軟性等	適正な予算	実現性 ※	
1	【市提案】 小・中学生のための体験型社会科学習事業	4.0	4.0	3.4	3.4	3.4	3.8	3.0	4.2	29.2
	担当課: 教育センター									
2	【市提案】 車いす観光バリアフリーマップ作成事業	4.6	4.4	4.6	4.0	3.8	4.0	3.4	4.4	33.2
	担当課: 観光課									

市との協議に進める団体の提案は、※印の項目の平均点が3点以上で、かつ合計が24点以上。

鎌倉市協働事業選考委員会からの講評

●小・中学生のための体験型社会科学習事業

団体には、専門性やノウハウ、相当程度の実績が認められました。充実化させる体験型社会科学習施設としても適しており、市のニーズにマッチしているものでした。

一方で、体験型社会科学習の具体的な内容が整理されておらず、体系的に何を学ばせて事業を完結とさせるのかなど、きちんと事業計画を立ててください。これまでの団体の活動と協働事業の基に新しく取り組まれる事業を区別し、新しく取り組まれる事業に対して報酬等の予算が執行されるよう整理してください。

当該事業は、単年度での完結を予定しているとのことでしたが、協働で得られたノウハウや教訓を次に繋げられるように事業を進めてください。

●車いす観光バリアフリーマップ作成事業

市には必要性を、団体にはノウハウとやる気を感じられ、それぞれの特性を活かした事業計画でした。

Web版などの活用も検討した上で、必要なマップの作成部数を決定してください。

デザイン料についても、他のNPOやデザインを学ぶ学生などとの連携をしてこそ協働であると感じます。さらに、商工振興、福祉教育との連携など、協働の広がりを感じさせる事業でした。

今後の可能性を探りながら、次の展開を考えて事業を進めてください。市全体のバリアフリー観光に対する意識を広める大事な役割が果たれるよう期待します。